



協定締結後、固い握手を交わす浅井市長と村田社長

暮らしの便利帳

# 官と民との協働により発行

市は、これまで市内への転入者などに配布していた「市民生活ガイド」に代えて、新たに観光や文化、市民サービスなどの情報を加え有料広告を掲載した「暮らしの便利帳」を官民協働「P・P・P」(パブリックプライベート)パートナーシップにより共同発行し、全世帯に配布することにしました。

4月15日には、協働のパートナーとなる(株)サイネックス(本社・大阪市、村田吉優代表取締役社長との間で共同発行協定を締結しました。

協定締結後、浅井市長と村田社長は「行政経費の節減に大きなメリットがあり、市民サービスが大きく向上する。協働のパートナーである同社と連携し製作を進めていきたい」「当社の経験を生かしよいものを作り、地域活性化につなげていきたい」とあいさつしました。

『P・P・P』  
Public Private Partnership

- ①官と民との新しい協働関係、パートナーシップ。新しい公共サービスの展開手法。
- ②行政の領域を民間に開放し、行政のスリム化と民間の活性化を実現しようとする考え方。
- ③行政が住民や企業とともに、既存の事業を見直して、住民にとって、本当に必要な公共サービスは何かと問い直す手法。

◎問い合わせ先  
本庁秘書広報課広聴広報係  
☎8182

就職促進  
情報提供

# ふるさとハローワーク開設



市長ら関係者がテープカットし、業務を開始しました

市は4月20日、市役所千厩支所1階に「一関市ふるさとハローワーク」を開設しました。一関公共職業安定所千厩出張所(ハローワーク千厩)が3月30日に廃止されたことから、大東千厩、室根の各地域と藤沢町の求職者の就職促進や利便性の向上を図ろうとするものです。

開設式で浅井市長は「市をあげて雇用・経済対策に取り組んでいるが、満開の桜のように景気が明るくなるよう、国と市が一体となったハローワークが地域の雇用安定に大きく貢献するものと期待している」とその役割を述べました。



職業検索機に向かう利用者

早速同所を訪れた女性(59歳)は「昨年12月から職を探しているが、車の免許もないので、近くにハローワークができたのは本当にありがたいし、利用価値は高い。できればこれまで経験してきた製造関係の仕事に就きたい」と話し、職業相談を受けていました。

ふるさとハローワーク

- ◇取り扱い業務…①一般求職者への求職受付、職業相談、紹介あっせん
- ②求人に対する相談・取り次ぎ
- ③検索機(4台)による求人情報提供
- ◇営業時間…☎～☎8時30分～17時。
- ④⑤および年末年始は休業
- ◇所在地…市役所千厩支所1階

◎問い合わせ先：①ふるさとハローワーク ☎2099  
②本庁労働政策室 ☎8461  
③千厩支所産業経済課 ☎3967

保育施設  
再編

# 内野・丑石の2園が閉園



内野保育園閉園式(上)と丑石児童館閉館式(下)

山間地での保育を担ってきた大東町内の2施設が園児の減少などにより、この3月に施設を閉じました。

内野保育園閉園式は3月27日、同町大原字高森の同園で行われました。関村昭子園長が看板を返納後、園児4人が「ありがとう、さようなら、内野保育園」と別れを告げました。昭和38年、内野小音楽室を利用して定員30人のへき地保育所としてスタートした同園。その後大原中内野分校跡の現在地に移転し、45年間で426人が卒園しました。

3月28日、同町鳥海字上野の施設内で行われた丑石児童館閉園式では、園児6人が「ぼくたちが大好きだった丑石児童館、さようなら」と閉館を惜しみました。同館は昭和38年、丑石婦人会が簡易保育所として運営開始したのが前身。同46年、町営の保育型児童館として定員50人でスタートし、38年間で448人が卒園しました。

表 寄附金の状況 ※21年3月31日まで

| 寄附メニュー               | 件数  | 寄附金額      |
|----------------------|-----|-----------|
| ふるさととの歴史と自然を大切に事業    | 7   | 75万5000円  |
| ふるさととの産業を元気にする事業     | 3   | 14万円      |
| ふるさとの子どもと高齢者の笑顔が輝く事業 | 9   | 28万円      |
| ふるさととのスポーツと文化を育む事業   | 1   | 30万円      |
| その他市政の推進に資する事業       | 3   | 8万5000円   |
| ※うち「災害関連事業」として       | (3) | (8万5000円) |
| 市長にお任せいただくもの         | 11  | 140万120円  |
| 合計                   | 34  | 296万120円  |

※寄附件数と寄附者総数が一致しないのは、複数のメニューに寄附いただいた人がいたため

ふるさと  
応援寄附

# 33人から296万円の善意

市は20年6月から「一関市ふるさと応援寄附」を開始し、21年3月までに県内外の多くの皆さんからご芳志をお寄せいただきました。寄附金額の合計は、296万1200円で、寄附者総数は33人となりました。誠にありがとうございました。ごさいました。

寄附は引き続き受け付けていますので、ふるさとへの応援をよろしく願います。

なお、寄付された人には、市内の温泉やホテルなどで利用できる「いちのせきふるさと宿泊優待券(5000円分)」をお贈りしています(市外在住で1万円以上寄付いただいた人が対象)。

◎問い合わせ先  
本庁企画調整課 ☎8641

消費  
活性化

# 一関市共通商品券を販売



- 一関商工会議所では、市の助成を受け、10枚のプレミアム付き商品券を販売しています。
- ◆販売期間…4月20日(金)～5月29日(金)(売り切れ次第販売終了とします)
- ◆販売額…1万1000円(額面1000円×11枚)分の商品券を1万円(1セット)で販売します(一人3セット、3万円分まで購入できます)
- ◆販売場所…一関商工会議所本所、同花泉・大東・千厩・東山・室根・川崎の各支所、日専連一関(地主町)
- ◆取扱店…店頭で専用ステッカーを掲示します
- ◆取扱期間…4月20日(金)～8月31日(金)(取扱期間終了後は無効となり、使用できませんのでご注意ください)
- ◆使用方法…取扱店で現金と同様に使用できます。ただしお釣りは出せません。
- ◆使用できない商品…▷印紙▷はがき・切手▷商品券▷ビール券▷酒券▷図書券▷プリペイドカード▷その他の金券
- ◎問い合わせ先…一関商工会議所 ☎23-3434、同花泉支所 ☎82-3130、同大東支所 ☎75-2448、同千厩支所 ☎53-2735、同東山支所 ☎47-2492、同室根支所 ☎64-2063、同川崎支所 ☎43-2440